

パートナーシップの時代
環境にやさしく人にやさしい社会に向けて
NPO 様との協働で企業ができること
伊藤園の取り組み

1. すべての組織の SR（社会的責任）の時代

みんなで社会課題の解決 ISO26000 の活用・「持続可能性」

- 社会的責任の意義
- 持続可能性
- 企業にとっての社会的責任 CSR（ISO26000）の理解
- NPO にとっての社会的責任
- なぜ ISO26000 か 基本認識 CSR の新潮流
 - ・ 本業 CSR の時代
 - ・ パートナーシップ（協働）の時代
 - ・ グローバル化時代の高まる調達リスク
- 本業 CSR の三つの意味
- CSR に ISO26000 を活かすメリット
- 7 つの原則と 7 つの中核主題

2. 伊藤園グループの CSR の特徴 1 「環境にやさしく」

- 伊藤園グループの重点的 CSR
 - 伊藤園グループ CSR の体系
- (1) バリューチェーンでの共有価値の創造
- 「茶畑から茶殻まで」
 - 茶産地育成事業
- 論理
- 特色①「社会性」、特色②「事業性」、特色③「革新性」
 - 茶殻リサイクルシステム
 - ・ 3 つの環境配慮と 3 つの有用性
- (2) コミュニティ課題への対応
- お茶で日本を美しく

3. 伊藤園グループの CSR の特徴 2 「人にやさしく」

- 伊藤園における人権の主な取り組み
- 伊藤園における消費者課題の主な取り組み

- 伊藤園におけるコミュニティ課題の主な取り組み
- お茶っこ会
- ティーテイスターによる茶文化の普及・啓発活動
- お茶の健康性

4. 新たな展開「NPO 様・自治体様と取り組む環境と福祉の融合 ～環境にも人にもやさしい取り組み～」

- 自治体と企業の協定 横浜市との「地域活性化に関する包括連携協定」
- 茶殻折り紙教室
- ヘルシーロード構想（山手通りヘルシーウォーク）
- はがしやすいラベル
- 道路のアナボコ報告（埼玉県ロードレポーター）
- 人にやさしいカフェ

5. NPO 様とともに人づくり・地域づくり

- ESD+CSR
 - ・ 持続発展教育 ESD (Education for Sustainable Development)
 - ・ ESD ユネスコ世界会議の概要
 - ・ ESD の基本的考え方
 - ・ 3 つの公正と 3 つのアプローチ
 - ・ ESD の 2 つのポイント
 - ・ お茶で日本を美しく。／お茶で琵琶湖を美しく。

6. NPO 様との多様なネットワーク

- 伊藤園がパートナーシップでめざすこと
 - ・ 本業 CSR として
 - ・ 関係者との連携を目指す主なテーマ
 - ・ 人と人とのつながり
 - ・ 皆様とともに
 - ・ 多様なステークホルダーの特色
 - ・ NPO と企業の違い
 - ・ 相互補完性
 - ・ 協働連携作業の進め方
- 情報共有
 - ・ 海上の森
 - ・ 第 6 回人と自然の共生国際フォーラム
 - ・ I N S : C S R / 環境人材育成研究会シンポジウム 2012 (岩手大学)
 - ・ 平成 25 年度サステナビリティ日本フォーラム
 - ・ ティーテイスター制度を活かした食育活動
 - ・ 大学での講義 (駿河台大学、東洋大学、関西大学 (予定)、埼玉大学 (予定))
- 情報発信
 - ・ 積丹町HPやブログ、広報誌に掲載

- ・ エコツツェリア協会HPに掲載
- ・ 陸前高田市 Facebook に掲載
- ・ 日本臨床心理士会HPに掲載

7. 今後のパートナーシップを考えるヒント

- ・ 「地域おこし協力隊」
- ・ 地産地消（農商工連携）

8. 伊藤園グループのCSR

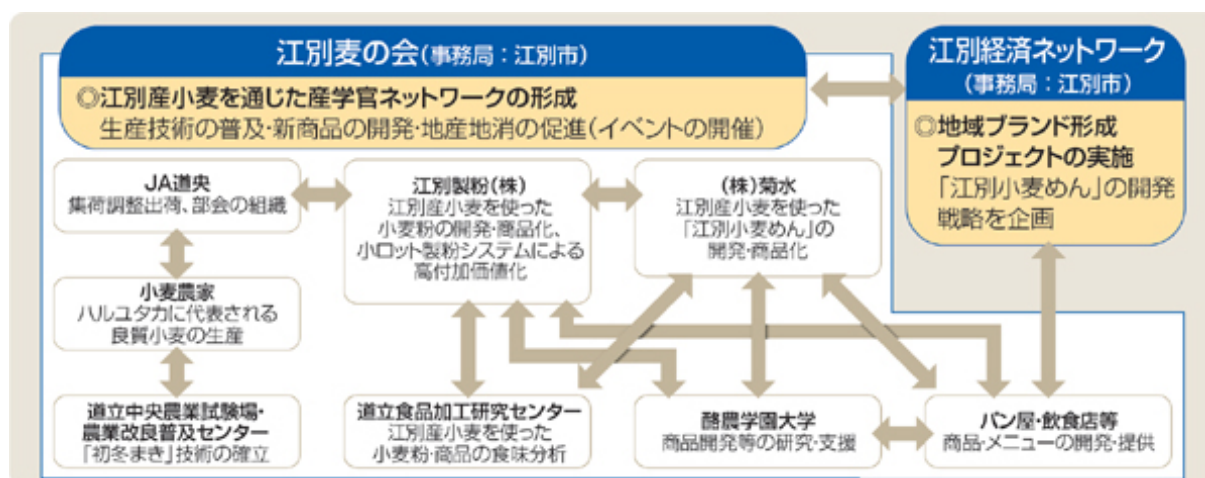
- ・ 伊藤園の戦略的CSR
- ・ 人的ネットワークの重要性
- ・ コミュニティに寄り添う
- ・ Triple ‘S’
- ・ 伊藤園が目指すところは・・・ Communi “tea”
（参考）地域円卓会議のススメ より

- ① 主体的な参画：すべての参加者は、共有する課題の解決や理想の実現のために、主体的・積極的に参画する。
- ② 互尊互敬：すべての参加者は対等・平等であり、互いに敬意をもって接する。
- ③ 柔軟な代表：すべての参加者は、自らの属する組織や分野の価値や利益だけでなく、より良い社会や未来の実現のために発言・判断・行動し、属する組織や分野にも働きかける。
- ④ 協働による創造：すべての参加者は、既存のしくみや手法の限界を率直に認め、多様な主体の協働によって創造される価値を信じる。
- ⑤ 開かれたコミュニティ：すべての参加者は、成果をより良いものにするために、新しい参加者を歓迎する。

（出典：『地域円卓会議』のススメ（編集：社会的責任に関する円卓会議、「持続可能な地域づくり」プロジェクトチーム有志 2012年3月）

<http://sustainability.go.jp/forum/projects/files/chiikienntakukaigi.pdf>

<幻の小麦でつながる地産地消のネットワーク>



（出典「農商工連携 88 選」経済産業省より）

http://www.meti.go.jp/seisaku/local_economy/88/kakusya05.html

以上

(プロフィール)

笹谷 秀光 (ささや ひでみつ) Hidemitsu Sasaya

株式会社伊藤園 取締役・CSR推進部長

東京大学法学部卒業。1977年農林省（現農林水産）入省。

研修で1981-1983年フランス留学、外務省出向（1987-1990年ワシントンDCの在米国日本大使館一等書記官）。農林水産省にて、中山間地域活性化対策、食品流通対策、酪農・牛乳対策や国際交渉などを担当（食品流通局企画課長、市場課長、畜産局牛乳製品課長、経済局国際経済課長など）。

2003年より3年半、環境省に出向（環境省大臣官房審議官等）。2006年農林水産省大臣官房審議官、2007年関東森林管理局長を経て、2008年退官。

同年伊藤園入社、知的財産部長、経営企画部長等を経て、2010年より取締役。

2012年5月より現職でCSR・環境を担当。ISO26000を活用した伊藤園グループのCSR活動の推進に取り組んでいる。

(著書)「CSR新時代の競争戦略—ISO26000活用術—」日本評論社2013年12月刊

(最近の大学講義・参加パネルディスカッションなど)

【予定】

- ・ INS ; CSR/環境人材育成研究会・岩手大学環境人材育成プログラム・講演（岩手県久慈市）（8月31日）
- ・ 琵琶湖ビジネスメッセでシンポジウム参加（グリーン購入ネットワーク滋賀主催）（10月24日）

【実績】

- ・ 大学での特別講義 駿河台大学（4月29日）、東洋大学（6月18日）、関西大学・埼玉大学（予定）
- ・ 神奈川県「企業とNPOのパートナーシップミーティング in 海老名」で基調講演（6月21日）
- ・ 関東農政局職員研修会で講演「CSRとパートナーシップの時代」（7月10日）
- ・ 日本環境教育フォーラムで事例発表（7月25日）
- ・ エコッツエリア協会（三菱地所関連の一般社団法人）での勉強会講師「コミュニティCSRの時代」（6月13日）
<http://www.ecozzeria.jp/wg/csr/csr20130613.html>
- ・ サステナビリティ日本フォーラム勉強会（4月22日） 講演 ISO26000「コミュニティ」「産地育成と安定調達を通じたサプライチェーンの協働」
<http://www.sustainability-fj.org/seminar/2013/20130308.php>
- ・ 第6回人と自然の国際フォーラム・シンポジウム（10月13日）
<http://www.mu-academy.jp/forum/kaisai-annai2012.aspx>
- ・ 地域志向 CSRと持続可能性ある地域作り・シンポジウム（INS ; CSR/環境人材育成研究会・岩手大学環境人材育成プログラム）（9月12日）
http://www.iwate-u.ac.jp/oshirase/file/1509_0.pdf